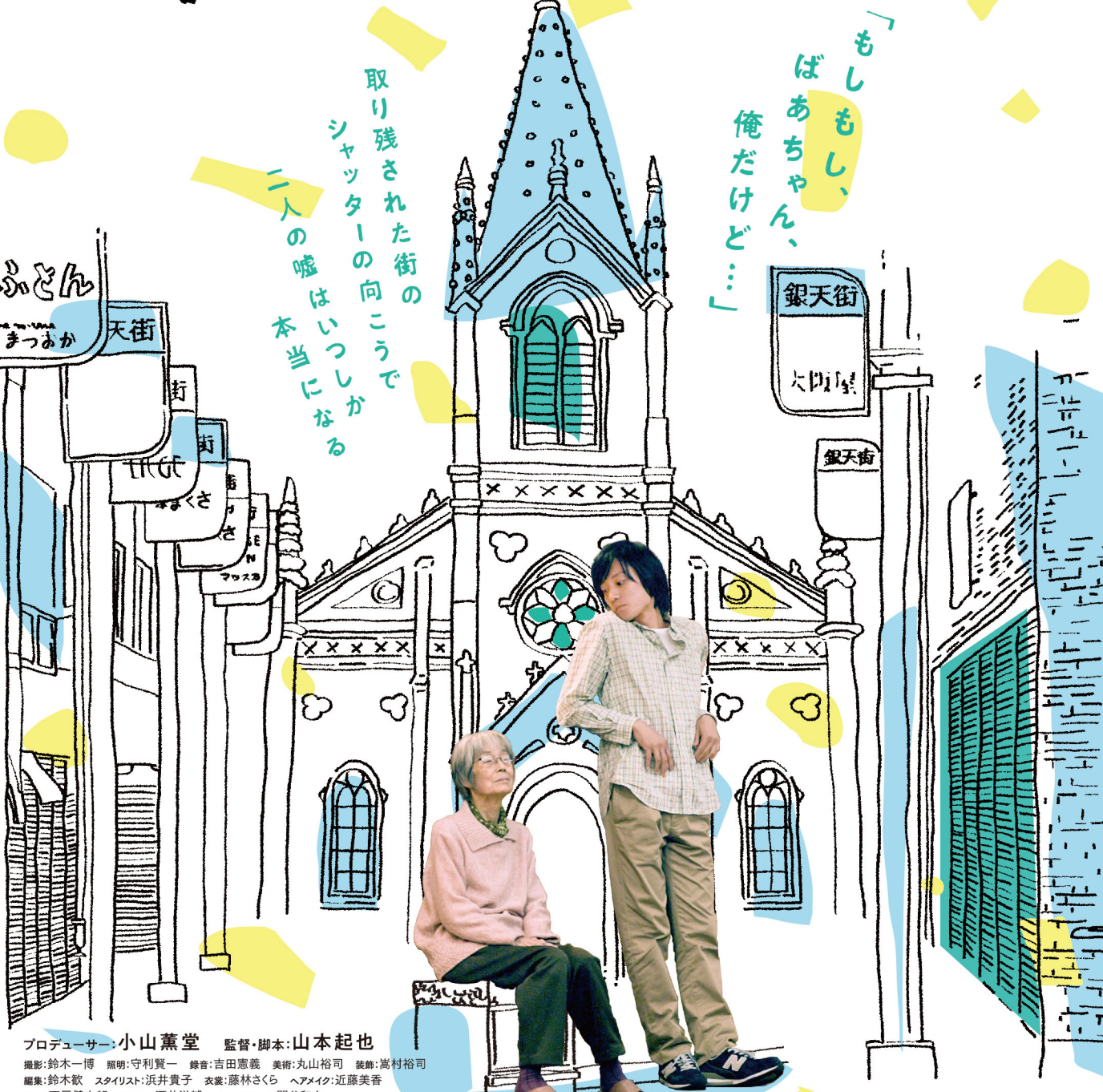


# のさりの島

NOSARI:  
Impermanent  
Eternity



取り残された街の  
シャッターの向こうで  
二人の嘘はいつしか  
本当になる

もしもし、  
ばあちゃん、  
俺だけど……

プロデューサー: 小山薫堂 監督・脚本: 山本起也

撮影: 鈴木一博 照明: 守利賢一 録音: 吉田憲義 美術: 丸山裕司 装飾: 高村裕司

編集: 鈴木歌 スタylist: 浜井貴子 衣裳: 藤林さくら ヘアメイク: 近藤美香

VFX: 西尾健太郎 タイトル: 酒井洋輔 グレーディング: 関谷和久

ラインプロデューサー: 大日方教史 ロケーションプロデューサー: 小山 真一

キャストिंग: 小林良二 監督補: 毛利安孝 制作担当: 後藤聡

音楽: 谷川賢作 小倉綾乃 藤本一馬

製作/配給: 北白川派 製作協力: 熊本県天草市 京都芸術大学

宣伝協力: 天草ケーブルネットワーク株式会社

協賛: 天草信用金庫 ホテルアレグリアガーデンズ天草

後援: JCBA九州コミュニティ放送協議会

©北白川派 2020 | 日本 | カラー | DCP | 1.51ch | ビスタサイズ | 129分

[www.nosarinoshima.com](http://www.nosarinoshima.com)

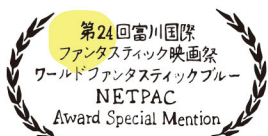


藤原季節 原知佐子

杉原亜実 中田茉奈実 宮本伊織 西野光

小倉綾乃 酒井洋輔 kento fukaya 水上竜士 野呂圭介

外波山文明 吉澤健 柄本明







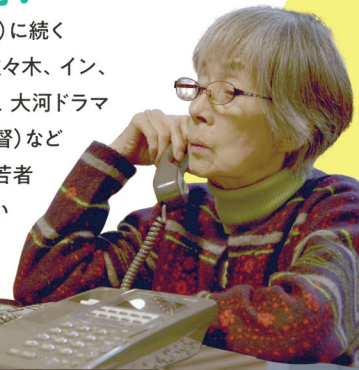
ゆったりとした時間が流れる天草に  
さまよひこんでしまった、オレオレ詐欺の若者。  
シャッター街の片隅ではじまった、  
ばあちゃんとの奇妙な生活。

“のさり”とは、いいこともそうでないことも、自分の今ある全ての境遇は、  
天からの授かりものとして否定せずに受け入れるという、  
天草の優しさの原点ともいえることば。

コロナ禍により人との繋がり、生き方が見直されるようになったいまだからこそ、  
「のさり」のやさしさ、天草の持つ人間性が心に染み渡る。  
“その土地に暮らす”ということの重みと、ひとの繋がり、  
心の交流が胸にじんわりと時を刻んでいく。

主人公に注目の実力派若手俳優・藤原季節、  
そして名女優・原知佐子の遺作がついに公開！

本作は2019年ミニシアターファンの心を捉え大ヒットした『嵐電』(19/鈴木卓爾)に続く  
北白川派の最新作となる。主人公に、映画『his』(20/今泉力哉監督)、主演映画『佐々木、イン、  
マイマイン』(20/内山拓也監督)にて、第42回ヨコハマ映画祭最優秀新人賞を受賞、大河ドラマ  
『青天を衝け』(21年)、映画『くれなずめ』(21年4月29日祝・木全国公開/松居大悟監督)など  
話題作への出演が続く、藤原季節。ふと“嘘”の日常に溶け込んでしまう、さまよえる若者  
を好演。オレオレ詐欺の男を孫として迎え、奇妙な同居生活を送るつかみどころのない  
お茶目な老女役に、本作が遺作となった原知佐子。『おくりびと』(08/滝田洋二郎)の  
小山薫堂をプロデューサーに、海外でも高い評価を得た『カミハテ商店』(12)  
の山本起也監督がメガホンを取った。



STORY

天草のシャッター街に響くブルースハープの音。  
わすれたい過去と、わすれられない記憶の中で、  
いつか“嘘”が心地よい日常にとけこんでいく――

「もしもしばあちゃん、俺だけど…」

オレオレ詐欺の旅を続ける若い男が、熊本・天草の寂れた商店街に流れ着いた。  
老女の艶子は、若い男を孫の“将太”として招き入れる。あたたかいお風呂、孫が好きな  
美味しい料理、そしてやさしいばあちゃん。若い男はいつの間にか、“将太”として艶  
子と奇妙な共同生活を送るようになり、やさしい“嘘”の時間に居場所を見つけていく。

地元FM局のパーソナリティを務める清らは、昔の天草の8ミリ映像や写真を集め、  
商店街の映画館で上映会を企画する。ひょんなことから“将太”も、上映会の企画チ  
ームに連れ込まれてしまう。賑わいのあった頃の天草・銀天街の記憶を取り戻そうと  
夢中になる清ら。かつての銀天街の痕跡を探る中で、艶子の持っていた古い家族アル  
バムに、“将太”は一枚の写真を見つける――。

本渡の大火、焼け跡を片付ける町の人々、復興後の祭りの様子…。街に流れる  
ブルースハープの音色と共に、スクリーンに映し出された天草のかつての記憶。

「将太さん、本当はこのひとなの…」

一見、とらえどころがない作品に  
思えるが、そこには、作り手の  
周到な計画が施されている。  
緩やかな時間の流れ。  
それが、この映画をさりげなくも  
豊かに律しているのだ。

上野昂志(評論家)

藤原季節 原知佐子  
プロデューサー: 小山薫堂 監督・脚本: 山本起也  
©北白川派 2020 | 日本 | カラー | DCP | 5.1ch | ビスタサイズ | 129分  
公式サイト: [www.nosarinoshima.com](http://www.nosarinoshima.com)  
Twitter: @nosarinoshima Instagram: @nosarinoshima



2021年5月29日(土)より  
渋谷ユーロスペースほか  
全国順次公開

天草の活版印刷所で作った、  
特別鑑賞券1,100円(税込)  
絶賛発売中!!  
[当日一般1,800円(税込)の処]  
劇場窓口で買い求め頂くと、  
特製ポストカードプレゼント!  
(一部劇場ではお取扱いごさいません。)

渋谷Bunkamura前交差点左折  
ユーロスペース  
EUROSPACE  
tel.03-3461-0211  
[www.eurospace.co.jp](http://www.eurospace.co.jp)



このチラシは、天草ケーブルネットワーク(株)/みつばちラジオ協力のもと、(有)天草民報社で印刷されました。